

合成皮革の性能

主 管：車両審査実験第二部
材 料 開 発 第 二 課
制 定：2007年8月10日
最終改：
確 認：2017年7月1日

1 制定の目的

本規格は、従来設計されていなかった合成皮革の要求性能について、新規に規定することを目的として制定する。

2 適用範囲

本規格は自動車の内装材に使用される合成皮革の要求性能について規定する。

3 種類

本規格に規定する種類は次の通りである。

合成皮革層	総厚(mm)	表皮層(mm)	糸種	編方
発泡タイプ	1.2~1.5	0.25~0.35	#30 E/R	両面メリアス
非発泡タイプ	0.65~0.8	0.35~0.5	#30 E/R	両面メリアス

4 品質

合成皮革は **ISC-F29-001** “合成皮革試験方法” に定める方法により試験を行い、本規格の**表 1**に規定する要求性能を満足しなければならない。但し、表中に示す総厚、表皮厚は要求性能とせず、参考値とする。

5 図面の表示

図面には次のように表示する。

[例] 発泡グレード，総厚 1.2，表皮厚 0.25
非発泡グレード，総厚 0.7，表皮厚 0.5

6 素材メーカーの表示

素材メーカーは素材納入時に次の項目が明確に判別できる表示をしなければならない。尚，表示方法については別途担当部所と協議する。

- 発泡，非発泡の有無
- グレード
- 総厚及び表皮厚
- 難燃表示（必要な場合のみ）
- メーカー名，製造年月日，製造ロット
- 長さ，中，カラーサンプル No.

7 付則

この規格は，2007 年 8 月 24 日から施行する。

関連標準 **ISC-F29-001Y** 合成皮革の試験方法

表 1 合成皮革の要求性能 (1)

合成皮革試験方法	合成皮革層	合成皮革層		発泡タイプ	非発泡タイプ
		総厚(mm)		1.2-1.5	.65-.80
		表皮層(mm)		.25-.35	.35-.50
	基布	糸種		#30 E/R	#30 E/R
		編方		両メリ	両メリ
6.3	50% モンテラス	kgf/3cm	タテ	----	----
			ヨコ	10 以下	15 以下
	引張強さ	kgf/3cm	タテ	20 以上	25 以上
			ヨコ	15 以上	15 以上
	伸び率	%	タテ	30 以上	30 以上
			ヨコ	120 以上	120 以上
6.4	引裂強さ	kgf	タテヨコ	4 以上	4 以上
6.5	定荷重伸び率	%	タテ	5 以上	5 以上
			ヨコ	20 以上	20 以上
	残留ひずみ率	%	タテ	4 以下	4 以下
			ヨコ	15 以下	15 以下
6.6	はく離強さ	kgf/3cm	タテヨコ	2 以上	2.5 以上
6.7	縫目強度	kgf/10cm	タテヨコ	40 以上	40 以上
6.8	破裂強さ	kgf/cm ²		8 以上	9 以上
6.9	剛軟度	mm	タテヨコ	120 以下	130 以下
6.10	耐寒性	----	タテヨコ	クラックなきこと	クラックなきこと
6.11	耐寒衝撃性	----		クラックなきこと	クラックなきこと
6.12	揮発減量	%		10 以下	15 以下
6.13	曇価	%		15 以下	15 以下
6.14	加熱収縮率	%	タテ	3 以下	3 以下
			ヨコ	1 以下	1 以下
6.15	浸水収縮率	%	タテヨコ	1 以下	1 以下
6.16	耐摩耗性	級		4 以上	4 以上
6.17	耐もみ性		タテヨコ	異状なきこと	異状なきこと
6.18	摩擦色落ち性	級	タテヨコ	4 以上	4 以上
6.19	耐硫化水素性	級		4 以上	4 以上
6.20	耐光性	級		4 以上	4 以上
6.21	粘着性			著しいべとつき損傷なきこと	著しいべとつき損傷なきこと
6.22	燃焼性	mm/分	タテヨコ	100 以下	100 以下
6.23	耐熱老化性	kgf/3cm	タテ	20 以上	20 以上
			ヨコ	15 以上	15 以上
	伸び率	%	タテ	25 以上	25 以上
			ヨコ	100 以上	100 以上
	耐寒性		タテヨコ	クラックなきこと	クラックなきこと
6.24	耐光老化性	kgf/3cm	タテ	20 以上	20 以上
			ヨコ	15 以上	15 以上
	伸び率	%	タテ	25 以上	25 以上
			ヨコ	100 以上	100 以上
	耐寒性		タテヨコ	クラックなきこと	クラックなきこと